

練馬区地域福祉計画推進委員会

次期練馬区地域福祉計画策定に向けた意見まとめ

(施策1・2) (たたき台)

令和6年8月

施策1 区民との協働と地域の支え合いを推進する

■ 検討にあたって、区から提示された重点的取組項目

- 1 地域の福祉力を支える担い手を応援する
- 2 区民との協働で地域・社会とのつながりを支援する
- 3 区民の地域課題を解決する力を引き出す

◎ 施策提言（まとめ）

- ① 町会・自治会、NPO・ボランティア団体などの地域活動団体が、活動内容が伝わるように工夫し、誰もが参加しやすくなるよう取り組んでいく必要がある。
- ② 保護司が安心して活動できるよう、面会場所や人材の確保のために様々な機関が連携・協力できるとよい。また、民生・児童委員が課題を抱えた家庭を見守っていく活動も重要である。
- ③ 地域活動が更に活発なものとなるためには、地域の活動者を支援する「地域福祉コーディネーター」や「生活支援コーディネーター」の存在が重要である。
- ④ 区の財源には限りがあるため、地域活動団体が力を引き出すことができるよう、区は支援することが必要である。

【主な意見】

1 地域の福祉力を支える担い手を応援する

- (1) 回覧板などの紙媒体の情報発信では、障害のある方に、十分に情報が行き届いていないのではないかと心配があるため、情報の新しい配布の手段を考える必要がある。
- (2) 町会・自治会などの住民組織が、町会活動につながっていなかった方に対して、活動内容が伝わるように工夫し、参加しやすくなるよう取り組んでいく必要がある。
- (3) 以前に「町会・自治会あり方検討会」という話し合いがあったが、そこでは、町会運営についての大変さを共有することができた。町会・自治会の役員が集まって意見交換できる機会を設けることについて検討していただきたい。
- (4) 保護司の担い手候補の方がいたが、令和6年5月大津市で発生した保護司の男性が更生支援していた保護観察中の男に殺害された事件を受けて、断られてしまった。保護司や担い手候補の活動に対する不安が払拭されるよう、様々な機関が連携・協力できるとよい。

(5)地域活動団体の規模に関係なく、長期的に事業継続できるよう、事業基盤強化に向けた支援の充実を求める。

(6)「つながるカード」や「ねりま地域活動ニュース」を参考に活動を考えている。これからもこういった事業を継続していただき、NPO 法人の活動を支援してほしい。

2 区民との協働で地域・社会とのつながりを支援する

(7)民生・児童委員は不登校やヤングケアラーといった課題を抱えた家庭を見守るケースがある。家庭全体で不安や悩みを抱えている場合があり、そのような家庭が孤立しないよう、見守り、適切な関係機関につなぐことが必要である。

(8)地域活動が更に活発なものとなるためには、地域の活動者を支援する「地域福祉コーディネーター」や「生活支援コーディネーター」の存在が重要である。

3 区民の地域課題を解決する力を引き出す

(9)区民は区に課題解決を求めることが多いが、区の財源には限りがある。民間や町会などの力を引き出すことが必要である。

(10)区民が興味のある取組に参加しやすくするため、区や町会などの地域活動団体は情報発信を更に充実することが必要である。

施策2 誰もが安心して生活できる環境を整える

■ 検討にあたって、区から提示された重点的取組項目

- 1 一人ひとりの特性に応じた支援を推進する
- 2 質の高い福祉サービスを安定的に提供する
- 3 災害時の要支援者対策を推進する

◎ 施策提言（まとめ）

- ① 重層的支援体制整備事業では、支援者自身が孤立しないように、支援者を支援し「支援者の輪」を作ることが重要である。
- ② 福祉サービスの質の確保のためには、事業者への経営支援を含めた指導検査体制の充実が必要である。
- ③ 避難行動要支援者対策については、町会・防災会・事業者・避難拠点運営に携わる方への更なる支援や周知が重要である。

【主な意見】

1 一人ひとりの特性に応じた支援を推進する

- (1)相談を受けても解決できないまま大変な状況になってしまうと、担当職員がつぶれてしまうため、難しいケースに対して関係部署が連携し、カンファレンスを実施できる体制が大事である。
- (2)重層的支援体制整備事業では、支援者自身が孤立しないように、支援者を支援し「支援者の輪」を作ることが重要である。
- (3)ひとり暮らし高齢者の訪問支援の中で、詐欺と疑われたことがある。アウトリーチ支援の充実においては、防犯意識の高まりも考慮して進めていくべきである。
- (4)都の児童相談所と区の子ども家庭支援センターが同じ施設にある先駆的な事例として進めていく中で課題を示していただきたい。
- (5)虐待の防止・早期発見に関する周知啓発の充実により、地域が課題を抱える家庭を支援できるとよい。
- (6)生活困窮者自立支援事業における「自立支援計画」の中に、「街かどケアカフェ」「相談情報ひろば」への運営ボランティア参加のような活動支援を提案する。当事者がこれから社会参加していく

中で、地域とのつながりは重要である。「街かどケアカフェ」「相談情報ひろば」は地域の総合福祉事務所や地域包括支援センターと連携がとれており、連携機関の一つとなり、当事者への「やりがいサポート」が可能である。

2 質の高い福祉サービスを安定的に提供する

- (7)福祉人材の確保に家賃補助や処遇改善は非常に有効だと思う。また、区は指導検査の結果や運営状況を踏まえて、福祉人材の確保・育成・定着の施策を進めて欲しい。
- (8)福祉人材の定着には、職員を守るため、カスタマーハラスメント対策やメンタルヘルスケアについて更に充実することが必要である。
- (9)サービスの質の確保のためには、指導検査体制の充実は必要である。また、福祉サービスの担い手が行政から民間に移っている中、福祉事業者から経営上の相談を受けるような取組等、経営支援に踏み込んだ取組ができるかどうかを検討していただきたい。

3 災害時の要支援者対策を推進する

- (10)災害時の個別避難計画にとっても期待しているが、誰が「助け」に来るのか、誰にどのような連絡をするのか等がわからない。視覚障害者は日ごろから同行援護事業者に世話になっているので、事業者と連携を取ってほしい。
- (11)避難行動要支援者対策について、避難拠点運営に携わる方への更なる周知がされると良い。
- (12)高齢者や障害者の中には避難所生活に馴染めない方も多いため、福祉避難所の拡充と福祉避難所への直接避難が進んでいくとよい。
- (13)災害時には、地域の町会や防災会の協力が重要になる。

① 地域福祉計画推進委員会 委員名簿

No.	区分	氏名	フリガナ	所属団体等
1	公募区民	月橋 達夫	ツルシ タツオ	公募委員
2		森 翔太郎	モリ ショウタロウ	公募委員
3		渡邊 千和世	ワタナベ チカヨ	公募委員
4		浦嶋 正男	ウラシマ マサオ	公募委員
5	学識経験者	今井 伸 (委員長)	イマイ シン	十文字学園女子大学副学長
6		中島 修 (副委員長)	ナカシマ シュウ	文京学院大学人間学部人間福祉 学科長
7	地域活動団体	木内 幹雄	キナチ ミツオ	練馬区町会連合会
8		佐久間 利和	サクマ トシカズ	練馬区商店街連合会
9		千葉 智也	チバ トモヤ	NPO 法人手をつなご
10		岡本 敬子	オカモト ケイコ	つながるサロン（街かどケアカフェ） 代表
11		川井 淳子	カワイ スミコ	大泉小学校避難拠点運営連絡会 会長
12		奈須 清美	ナス ヒロミ	外国語相談員
13	福祉関係団体	田中 敏	タナカ トシ	練馬区民生児童委員協議会
14		的野 碩郎	マキノ ヒロロウ	練馬区障害者団体連合会
15		山崎 靖雄	ヤマザキ ヤスオ	練馬区老人クラブ連合会
16		大竹 徳明	オオタケ トクアキ	大泉北地域包括支援センター
17		山本 和浩	ヤマモト カズヒロ	練馬区福祉人材育成・研修センタ ー
18		二葉 幸三	フタバ ヨシユキ	練馬区保護司会
19	社会福祉協議会	佐藤 修男	サトウ シュウオ	社会福祉法人練馬区社会福祉協 議会

② 地域福祉計画推進委員会 開催経過

回	開催日	主な検討項目
第1回	令和5年8月3日(木)	① 地域福祉計画取組状況報告について ② 次期地域福祉計画の策定について
第2回	令和5年11月15日(水)	① 重層的支援体制整備事業について ② 再犯防止推進について ③ 孤独・孤立対策について ④ 各部会の報告
第3回	令和6年3月22日(金)	① 次期地域福祉計画策定にかかる調査結果報告(速報版) ② 練馬区の地域福祉に関する現状と課題 ③ 地域福祉活動計画進捗状況報告 ④ 各部会の報告
第4回	令和6年5月23日(木)	① 地域福祉計画取組状況報告について ② 地域福祉に関する国・都の動向について ③ 次期練馬区地域福祉計画の策定について ④ 次期練馬区地域福祉計画の体系(案)
第5回	令和6年6月27日(木)	① 練馬区再犯防止推進検討委員会意見まとめについて ② 施策1「区民との協働と地域の支え合いを推進する」
第6回	令和6年7月30日(火)	① 施策2「誰もが安心して生活できる環境を整える」
第7回	令和6年8月29日(木)	① 次期練馬区地域福祉計画策定に向けた意見まとめ(案)について ② 練馬区重層的支援体制整備事業について ③ 各部会の報告 ④ 地域福祉活動計画の進捗状況について